

フリーアドレスのモデル実施について

1 概要

フリーアドレスのモデル実施については、令和6年度から4階執務室の一部で開始し、令和8年4月から、こども家庭部及び教育委員会において導入予定であり、現在準備を進めている。

これまでの取組みの中で、コミュニケーションの活性化や執務室の省スペース化等、職場環境の改善に良好な効果が確認されている。

今後、規模や業務類型が異なる部署での導入効果をさらに検証していくため、フリーアドレスのモデル実施を拡大する。

2 フリーアドレス導入後の実績

コミュニケーションの活性化といった定性効果に加えて、次の項目において、定量効果が確認されている。また、これまでの実施内容を踏まえて、庁内でのフリーアドレス運用ルールを策定した。

一方で、他所属からの電話の取次ぎに課題があることが確認された。

項目	導入前	導入後
デスク等の入替に伴い生じたスペース	—	16.4 m ² (導入エリアの約 15%)
フリーアドレス用の打合せスペース予約時間数	—	361 時間/年
本庁舎会議室予約時間数	151 時間/年	88 時間/年
複合機印刷枚数（認証プリント・コピーの合計）	153,668 枚/年	104,218 枚/年

3 令和8年度の取組み

庁舎6階（環境清掃部）、庁舎8階（情報政策課、情報システム課）にてモデル実施を拡大し、フロア全体や業務内容が類似する部署でのフリーアドレス導入効果を検証する。

併せて、電話の取次ぎに関する課題解消を図るとともに、検証項目の追加や共通ルールの更新を行い、モデル実施における検証結果のさらなる蓄積を図る。

4 予算額（案）

12,817千円

5 今後の予定

令和8年4月 6階（こども家庭部、教育委員会）にて導入

8月 6階（環境清掃部）、8階（情報政策課、情報システム課）
にて導入